

クリスマスに おすすめの一冊

みなさんはアドヴェントのときをどのように過ごしますか。
各部の方々に、おすすめの一冊と一本を紹介していただきました。



初等部 Elementary School

『やまあらしぼうやのクリスマス』

ジョセフ・スレイト 文／フェリシア・ボンド 絵
グランママ社

もうすぐクリスマス。やまあらしぼうやは聖劇に出たいのですが、つんつんとげのある容姿の醜さのため、動物の子どもたちから仲間外れにされています。やまあらしぼうやのことを、「やーい とげとげボール!」とからかう言葉が、ちくちくと心に刺さります。それでもやまあらしぼうやは劇を成功させるため、裏方の仕事をしっかりと果たします。そして最後には、「とげとげボール」だからこそできる、とっておきの役を演じることになります。

やまあらしぼうやの心を支えるのは、お母さんの「ぼうやはわたしのこころの

ひかり」という言葉。同じ立場になった時、このような冷静な言葉をかけられるだろうかと考えてしまいます。ですがこの母の愛が、何よりも子の心の拠り所になるのです。どんな時でも、「そのままのあなたを愛しているよ」と子どもに伝えることの大切さを感じます。

最後、舞台上で輝くやまあらしぼうやを見て、お母さんが「わたしのこころのほし」と呟く場面。母の愛が一段と温かくじんわりと伝わってきます。

初等部教諭 大串久美子

